

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第28週の発生動向

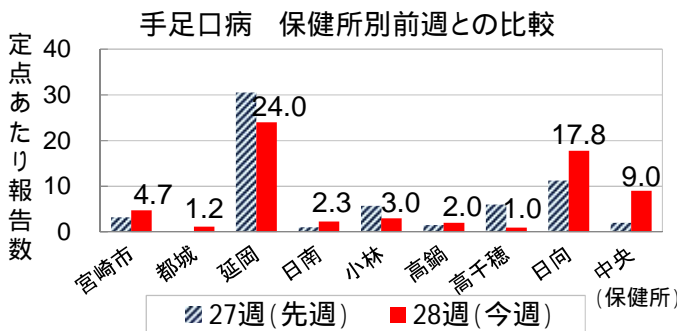
定点医療機関からの報告総数は890人( 定点あたり27.5 )で、前週比97%と横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

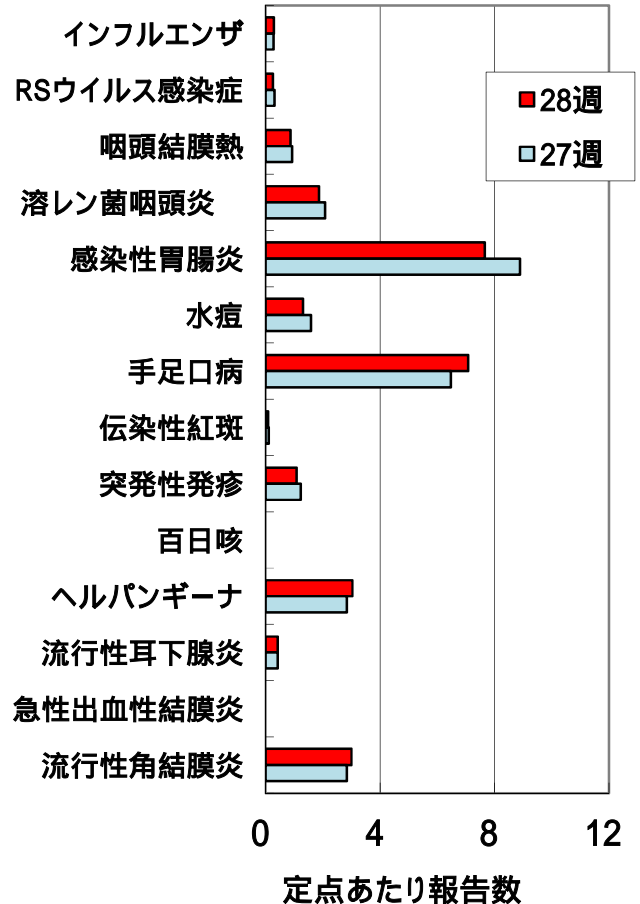
インフルエンザ・小児科定点からの報告

### 【手足口病】

・報告数は 255 人(7.1)で前週比 109%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\* (6.3) の約 1.1 倍である。延岡(24.0)、日向(17.8)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から3歳が全体の約9割を占めた。



## (前週との比較)

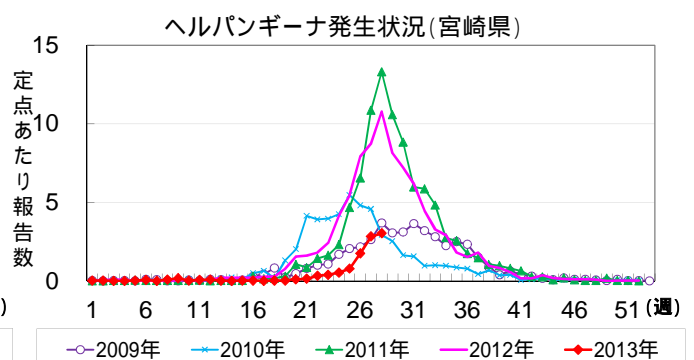
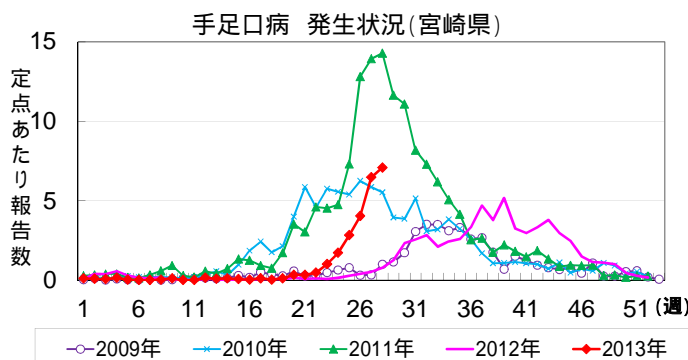


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### 【ヘルパンギーナ】

・報告数は 109 人(3.0)で前週比 107%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値\* (6.0) の約半数である。延岡(7.3)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から3歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



## 基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：都城保健所管内で3人報告された。患者は9ヶ月、2歳、6歳で病原体はいずれも不明。

マイコプラズマ肺炎：延岡保健所管内で1人報告された。患者は4歳。

## 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(24.0) ヘルパンギーナ(7.3)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(17.8)
中央	手足口病(9.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

・手足口病(5.0)

・ヘルパンギーナ(6.0)

## 全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 5 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	無症状病原体保有者	-
			30歳代	無症状病原体保有者	-
			60歳代	肺結核	咳
			70歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	胸痛、胸水
		日南	70歳代	無症状病原体保有者	-

## 病原体情報（衛生環境研究所微生物部平成 25 年 7 月 16 日までに検出）

### ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
エコーウイルス18型	8M	男	2013.6.20	エンテロ、39.1、発疹	咽頭ぬぐい液	2013.7.16
エコーウイルス18型	0	男	2013.6.24	発熱	咽頭ぬぐい液	2013.7.16
ヒトメタニューモウイルス	3	女	2013.7.3	ウイルス性肺炎、40、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2013.7.5

エンテロウイルス感染症疑い、発熱等の症状を呈した乳児2名からエコーウイルス18型が分離された。

ウイルス性肺炎と診断された幼児からヒトメタニューモウイルスが検出された。

## 細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2)	10歳代	男	2013.6.18	無症状	便	2013.6.25
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1,2)	60歳代	女	2013.6.24	EHEC疑	便	2013.7.1
<i>Salmonella</i> O4群血清型不明(O4:i:-)	0~4	女	2013.6.24		便	2013.6.24

## 全国第27週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は16.5で、前週比110%と増加した。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

手足口病の報告数は14,878人(4.7)で前週比140%と増加した。大分県(17.2)、鳥取県(13.4)、山口県(13.0)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から3歳が全体の約8割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は5,609人(1.8)で前週比142%と増加した。熊本県(5.7)、岡山県(4.8)、徳島県(4.6)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から3歳が全体の約7割を占めた。

### 全数把握対象疾患(全国第27週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	439例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	141例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	6例	デング熱	4例
	日本紅斑熱	8例	マラリア	1例	ライム病	1例
	レジオネラ症	44例				
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	6例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	14例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	6例	先天性風しん症候群	1例	梅毒	18例
	破傷風	2例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	363例
	麻しん	7例				

\* 風しん：大阪府(77例)、東京都(69例)、神奈川県(38例)、兵庫県(25例)からの報告が多い。九州の報告数：福岡県(10例)、佐賀県・鹿児島県(各9例)大分県・宮崎県(各1例)、長崎県・熊本県・沖縄県(報告なし)。

\* 先天性風しん症候群：今週の届出は千葉県(1例)、2013年1週から27週の全国累積は8例。

## 月報告対象疾患の発生動向 <6月>

### 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は22人（1.7）で、前月比49%と減少した。また、昨年6月（3.2）の約半数であった。

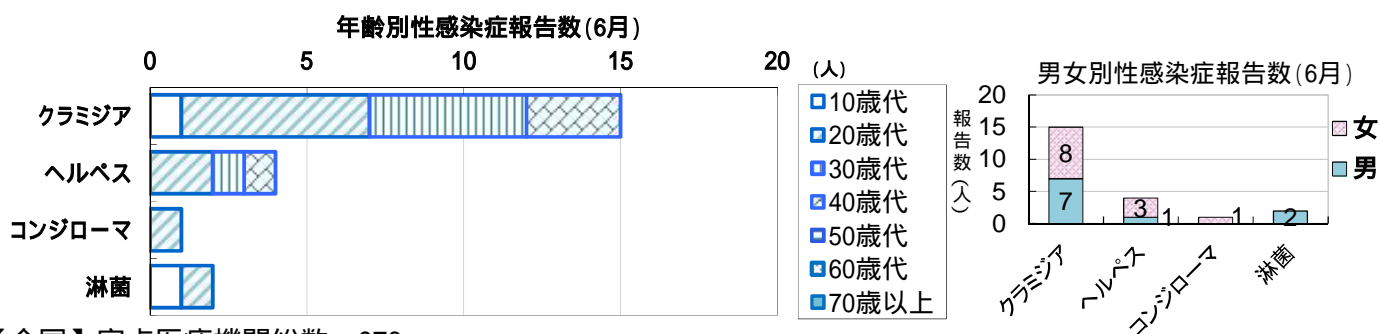
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数15人（1.2）で、前月の約半数、前年の約7割であった。20歳代が全体の約4割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人（0.31）で、前月の約6割、前年の約4割であった。20歳代が2人、30歳代・40歳代がそれぞれ1人であった。

尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月と同程度、前年の約3割であった。患者は20歳代であった。

淋菌感染症：報告数2人（0.15）で、前月及び前月の約3割であった。10歳代後半・20歳代がそれぞれ1人であった。



【全国】 定点医療機関総数：976

定点医療機関からの報告総数は4,212人（4.3）で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,188人（2.2）で前月比99%、性器ヘルペスウイルス感染症729人（0.75）で前月比93%、尖圭コンジローマ509人（0.52）で前月比106%、淋菌感染症786人（0.81）で前月比108%であった。

### 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は37人（5.3）で前月比154%と増加した。また、昨年6月（3.6）の約1.5倍であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数34人（4.9）で、前月の約1.5倍、前年の約1.7倍であった。70歳以上が全体の約半数、60歳代が約2割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月の約2倍、前年の約7割であった。患者は5歳未満と70歳以上であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人（0.14）で、前年の約半数であった（前月は報告なし）。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：474

定点医療機関からの報告総数は1,840人（3.9）で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,588人（3.3）で前月比94%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症244人（0.51）で前月比73%、薬剤耐性緑膿菌感染症38人（0.08）で前月比133%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第28週(07月08日～07月14日)

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	16	17	1				16				
	定点あたり	0.27	0.29	0.06	0.00	0.00	0.00	3.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	11	9	4	1	3					1	
	定点あたり	0.31	0.25	0.40	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	33	31	9	2	7	7	1	2		3	
	定点あたり	0.92	0.86	0.90	0.33	1.75	2.33	0.33	0.50	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	75	67	12	8	23	6	1	2	3	11	1
	定点あたり	2.08	1.86	1.20	1.33	5.75	2.00	0.33	0.50	3.00	2.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	320	276	65	56	5	32	58	19	9	28	4
	定点あたり	8.89	7.67	6.50	9.33	1.25	10.67	19.33	4.75	9.00	7.00	4.00
水痘	報告数	57	47	8	2	9	3	3	6	2	13	1
	定点あたり	1.58	1.31	0.80	0.33	2.25	1.00	1.00	1.50	2.00	3.25	1.00
手足口病	報告数	233	255	47	7	96	7	9	8	1	71	9
	定点あたり	6.47	7.08	4.70	1.17	24.00	2.33	3.00	2.00	1.00	17.75	9.00
伝染性紅斑	報告数	4	3			1	2					
	定点あたり	0.11	0.08	0.00	0.00	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	44	39	14	9	6	2		5		2	1
	定点あたり	1.22	1.08	1.40	1.50	1.50	0.67	0.00	1.25	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	102	109	33	12	29	11	1	8		13	2
	定点あたり	2.83	3.03	3.30	2.00	7.25	3.67	0.33	2.00	0.00	3.25	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	15	2	5	2	2				3	1
	定点あたり	0.42	0.42	0.20	0.83	0.50	0.67	0.00	0.00	0.00	0.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	18	16		2						
	定点あたり	2.83	3.00	5.33	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	3	3		3							
	定点あたり	0.43	0.43	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～28週)

2類感染症	結核	140例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	つつが虫病	4例	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	7例
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	6例	破傷風	3例
	風しん	22例				

( )内は今週届出分、再掲